

新入生教務ガイダンス

建築都市工学部

都市デザイン工学科

学生証をICカードリーダーにかざしてください。

※ 学生証を忘れた方は、出席カードを配りますので、ガイダンス終了時に提出してください。



KSU

新入生教務ガイダンス

建築都市工学部 都市デザイン工学科 1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』そして、分からないことは必ず聞くこと。

配布物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド(各学部別)
5. 履修ガイド(K'sLife利用ガイド)
6. 授業時間割表
7. 教職課程について
8. 創立60周年記念オリジナルEdyカード及びチラシ
9. 教科書購入一覧表
10. 教科書購入申込書(OCR)
11. 外国語学習の手引き2020
12. Campus
13. 学友会ハンドブック
14. 若いときから知っておくべきお酒のこと
15. 基礎から学べる金融ガイド
16. 薬物乱用防止リーフレット
17. ごみルールブック
18. 大切なあなたを守るために・・・福岡県警察
19. 定期健康診断日程表
20. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
21. お金の心配なく学びつづけたい学生のみなさんへ
22. 国際交流センター報(JUNCTION)
23. キャンパスハラスメント冊子
24. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2020-2021
25. 九州産業大学美術館展覧会「家具をつくる一暮らしを語るデザイン」チラシ
26. 九州産業大学資格取得講座等総合案内
27. 大楠アリーナ2020パンフレット
28. 入学直後アンケート

封筒の中に、
「配付書類及び解説」(A4縦1枚)
に記載されているものが、すべて
入っているか確認してください。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
クラス制及びクラス担任	あり(1クラス10人~20人程度)	あり(クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員)
HR/朝礼	あり	なし(大学からの連絡や情報は、K'sLife、教務部HP、掲示板に掲載します。)
学期制	基本的に3学期制	2学期制(前学期・後学期)
休み期間	8月、12月下旬~1月上旬、3月末	8月上旬~9月上旬、12月下旬~1月上旬、2月~3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。(中には着席位置が決められている授業もあります。) ①講義:先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験:先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール:少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め、各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション(発表)などを行う学生中心の授業。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名～多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合は必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

用語説明

履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

K'sLife（ケース ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）

シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K'sLife（ケースライフ）で閲覧可能。

※学生証

*本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

*内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと

コロナウイルス感染症拡大に伴う 学年暦の変更について

コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学での安全・安心な授業体制を整えるため、授業開始を**延期**します。

配布している学生便覧・履修ガイド(K'sLife利用ガイド)等に記載の学年暦(1年間のスケジュール)は**変更前**のものです。

今から説明するスライド内容については、**変更後**の学年暦をお伝えするため、本日の内容を必ず参考にしてください。

学生便覧とは

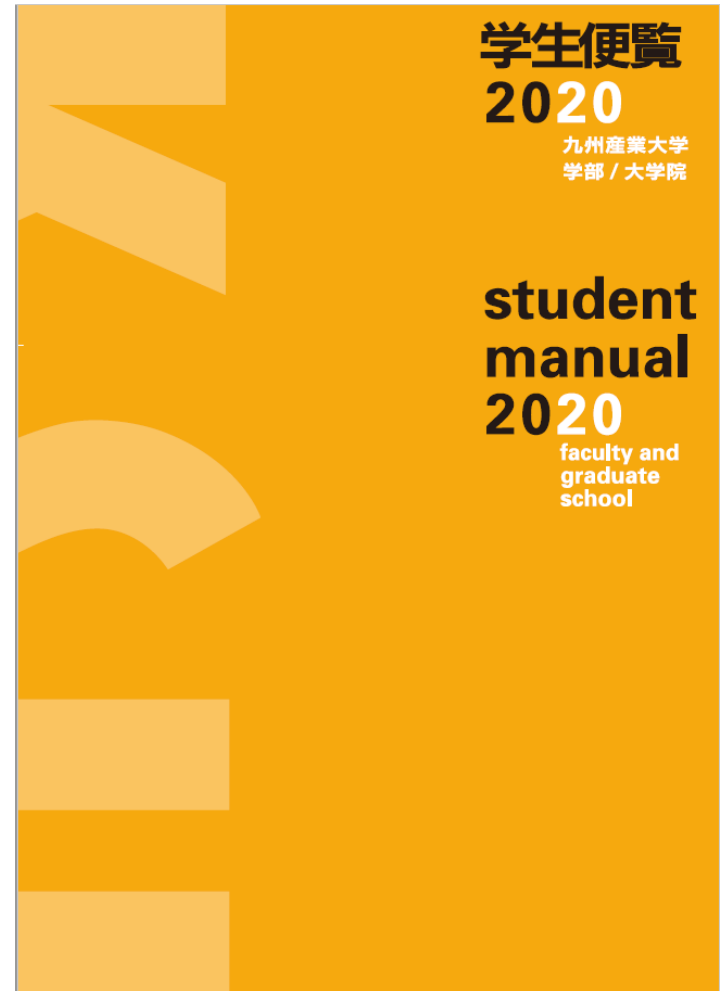
在学中、すべてのルールはこの学生便覧に基づいている。紛失しないこと。

★学年暦 (P. 1～2)

1年間のスケジュール
補講日や祝日授業日等
行事日程を掲載

★担当部所

授業・試験・履修登録
に関する事＝教務課



学年暦

授業は、**前学期13回**、**後学期14回**

4月 9月 3月

前学期

夏季休業

後学期

冬季休業

・前学期授業開始 **4/22(水) 全13回**

・祝日授業実施日 **4/29(水)**等

・**7/4(土)→火曜授業**

・補講日(土曜日)

4/25、5/16、5/30、6/13、

6/27、7/11、**7/24**

・前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

・後学期授業開始 9/14(月) 全14回

・祝日授業実施日 9/21(月)等

・**12/23(水)→月曜授業**

・補講日(土曜日)

9/26、10/10、10/24、11/7、11/21、

12/5、12/19、1/7

・後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

・夏季休業 8/4(火)～

・冬季休業
12/24(木)～

前学期の成績公開日は、8月31日(月)

後学期の成績公開日は、3月10日(水)

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P. 8）

別表第10は、P. 62に記載。

卒業までに124単位以上必要！

- ・ 第18条：単位の認定（P. 8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われます。

成績表示は

秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D/E）

単位修得

受験心得・学生証・教員組織

- **受験心得（P. 415）**

定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。

- **学生証の取扱**

本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!

内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと。

- **教員組織（P. 421）**

建築都市工学部 住居・インテリア学科の

専任教員は8号館8階に研究室がある。

理工系担当の非常勤講師控室は8号館4階。

履修ガイドについて

履修とは



履修とは: 卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

履修ガイド: 本年度の履修に関する手引書講義を受ける上での注意事項が記載している。
必ず一読し、履修登録すること。

履修登録: 自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。学生便覧の授業科目履修規程、年次別授業科目配当表及び授業時間割表を確認すること。

履修ガイドについて

シラバス

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K'sLifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

科目コード	0FG2001																																
科目名	地域共創学概論																																
担当教員	真木 圭亮 湯道 裕俊 佐藤 忠文 緒方 泉 木村 俊夫 古賀 弥生 宗像 徳栄 松 龍山下 永子 横井 克典 行平 真也 瑞慶山 広大 高田 和幸																																
対象学年	1年																																
クラス	[001]																																
講義室	N303教室																																
履修学期	前期																																
曜日・時間	火4																																
単位区分																																	
授業形態																																	
単位数																																	
評価事項																																	
備考																																	
実施教員	○																																
A 授業概要/Class Outline	<p><IPおよびGPとの関連性> 本講義は、地域づくり学科のOP1およびOP1に基づいて、様々な角度からの地域共創を学ぶことを目的として設置している。</p> <p><カリキュラム上の位置付けや水準> 本講義は、地域づくり学科における最も基礎的な科目として、1年次に配当されている。</p> <p><内容> 「地域づくり」が大きく変化しつつある。かつて地域づくりは自治体が主体となり行うものであった。近年では自治体だけでなく、企業やNPO法人、さらにはその地域に暮らしを営む住民が共に手を取り合って地域づくりを行うようになってきている。すなわち、地域が「共創」されるようになってきている。本講義では、地域の共創の近年の動向やその特色、そして将来的な展望について、専門領域の異なる教員が自身の専門領域の視点から解説していく。本講義を通じて、時代のまちづくりの意義、そして共創の重要性と向き合っていく。本講義を通じて、</p> <p>基本的には以下のスケジュールで進行していくが、状況に応じて多少の変更が生じる場合がある。</p>																																
B 授業計画(テーマ及び学習内容)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「地域を共創する」という考え方について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不登校とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>災害と關する自治体の役割を考える</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これからの地域の共創のあり方について考える</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ	2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ	3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える	4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ	5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える	6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ	7	不登校とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える	8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える	9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ	10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える	11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える	12	環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る	13	災害と關する自治体の役割を考える	14	これからの地域の共創のあり方について考える	15	
回	内容																																
1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ																																
2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ																																
3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える																																
4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ																																
5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える																																
6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ																																
7	不登校とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える																																
8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える																																
9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ																																
10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える																																
11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える																																
12	環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る																																
13	災害と關する自治体の役割を考える																																
14	これからの地域の共創のあり方について考える																																
15																																	
C 到達目標/Class Goal	<p>・地域づくりへの多様なアプローチについて理解できる ・「地域共創」という考え方を理解できる</p> <p><事前・事後学習について> 大学設置基準第21条第2項に「一 単位の授業科目を四十五時間の学習を必要とする内容をもって構成することを得準とし」と記載されている。本科目は1単位数であるため、受講時には90時間の学習が求められる。授業時間は100分×14回=21.5時間であるため、90時間から21.5時間を引いた68.5時間が、事前・事後の総学習時間となる。授業1回あたりでは、68.5時間÷14回=4.9時間/回の事前・事後学習が受講生には求められる。</p>																																
D 事前学習の内容(事前・事後学習)	<p><事前・事後学習の内容> 事前学習: 地域共創の事例について、自分なりに調べ整理しておく(2.25時間) 事後学習: 講義内容の復習(2.5時間)</p>																																
E 評価基準/Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規定第43条(成績評価基準)に基づき評価する。																																
F 評価方法/Grading Method	毎回の講義でのミニレポート(100%)																																
G 受講上の注意/Class Rules	・出席については受講生自身が責任を持って管理すること ・講義中は質問や意見を求めることがあるため、その機会を逃さないように集中して講義に臨むこと特に設けない。																																
H 受講制限/Prerequisite	地域共創学部のすべての科目の基礎となる重要な科目の1つであることを強く意識して履修に臨むことが望ましい。																																
I 関連する科目/Related Class																																	
J 教科書/Text	必要に応じて適宜指示をする。																																
K 指定図書/Assigned Books	必要に応じて適宜指示をする。																																
L 参考文献/Bibliography	必要に応じて適宜指示をする。																																

大学の学修（学修と学習のちがい）

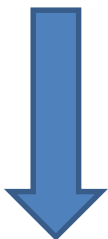
①自分で学修計画（時間割）を作成する。



②自分で履修登録を行う。



③授業を受ける。



レポート
提出



定期
試験



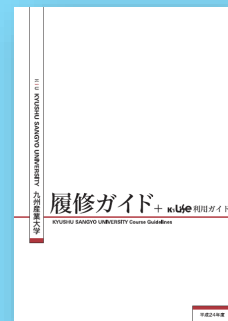
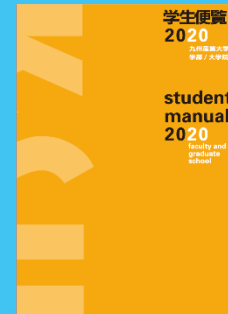
④単位を修得する。



⑤卒業に必要な単位を修得する。



⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照
すること。

科目について

九州産業大学の教育課程

基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

学則

卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、124単位！！
但し、卒業要件を満たしていないといけません。

建築都市工学部

授業科目区分		授業科目及び単位数		
		建築学科	住居・インテリア学科	都市デザイン工学科
専門科目	必修科目	82単位	74単位	58単位
	選択必修科目	—	2単位以上	—
	選択科目	22単位以上	28単位以上	44単位以上
基礎教育科目	導入科目	12単位以上	12単位以上	12単位以上
	実践科目			
	教養科目			
	心と身体の健康科目			
外国語科目	英語8単位以上	英語8単位以上	10単位以上 (英語8単位を含む)	
合計		124単位以上	124単位以上	124単位以上

単位について

建築都市工学部 都市デザイン工学科 *印は必修科目

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門科目	*建築都市入門	2	*構造力学演習Ⅰ	2	*コンクリート構造工学Ⅰ	2	*卒業研究	6
	*情報処理入門	2	*地盤工学演習Ⅰ	2	*環境水理実験	2	*卒業実習	4
	*基礎数学	2	*水理学演習Ⅰ	2	*応用ゼミナール	2		
	*基礎物理	2	*まちづくり学	2	*技術者倫理	2		
	*基礎測量学	2	*建設材料実験	2	*土木統計学	2		
	*基礎環境学	2	*建設CAD演習	2	河川工学	2		
	*基礎演習	2	*景観デザイン	2	水道工学	2		
	*測量学実習	2	応用測量学	2	道路工学	2		
	*構造力学Ⅰ	2	構造力学Ⅱ	2	プログラミング入門	2		
	*地盤工学Ⅰ	2	地盤工学Ⅱ	2	構造力学演習Ⅱ	2		
	*水理学Ⅰ	2	水理学Ⅱ	2	地盤工学演習Ⅱ	2		
	*建設材料工学	2	工業概論	2	水理学演習Ⅱ	2		
	*設計製図Ⅰ	2			構造力学Ⅲ	2		
	情報処理演習九州学	2			インターンシップ	2		
					建築CAD演習	2		
					建築法規	2		
					職業指導	4		
土木デザイン			建設材料工学演習	2	コンクリート構造工学Ⅱ	2	施工管理学	2
			設計製図Ⅱ	2	土木デザイン実験	2		
都市防災					海岸港湾工学	2		
			都市防災学Ⅰ	2	耐震工学	2		
			都市防災学Ⅱ	2	都市防災学演習	2		
まちづくり			建築製図実習	2	建築生産	2		
			建築環境学	2	景観デザイン演習	2		
			まちづくり演習	2	建築設計製図	2		
環境緑		植物学	2	生薬学	2			
			応用生薬学	2				

建築都市工学部共通 *KSU基礎教育コア科目

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目(単位)		授業科目(単位)		授業科目(単位)		授業科目(単位)	
導入科目	基礎ゼミナール	(2)						
	情報処理演習A	(2)						
	情報処理演習B	(2)						
基礎	*キャリア形成基礎	(2)	*キャリア形成発展	(2)	*キャリア形成実践	(2)		
	*実用英語Ⅰ(文筆力)	(2)	*実用英語Ⅱ(文筆力)	(2)				
	*実用英語Ⅲ(会話力)	(2)	*実用英語Ⅳ(会話力)	(2)				
	*英語的教養Ⅰ	(2)						
	*英語的教養Ⅱ	(2)						
教養科目	*大衆文化	(2)	英訳力育成演習A	(2)				
	学生ボランティア入門	(2)	英訳力育成演習B	(2)				
	実践キャリア学Ⅰ	(2)	課題解決演習A	(2)				
	実践キャリア学Ⅱ	(2)	課題解決演習B	(2)				
	実践キャリア学Ⅲ	(2)						
	実践キャリア学Ⅳ	(2)						
	*日本の歴史	(2)						
	*日本の憲法	(2)						
	*法学	(2)						
	*日本国憲法	(2)						
外国語	Reading & Writing I (1)	Reading & Writing II (1)	Reading & Writing III (1)	Reading & Writing IV (1)	Project I (2)	Project II (2)		
	Listening & Speaking I (1)	Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)				
	Reading & Writing V (1)	Reading & Writing VI (1)	Reading & Writing VII (1)	Reading & Writing VIII (1)				
	Listening & Speaking V (1)	Listening & Speaking VI (1)	Listening & Speaking VII (1)	Listening & Speaking VIII (1)				
	Reading & Writing IX (1)	Reading & Writing X (1)	Reading & Writing XI (1)	Reading & Writing XII (1)				
	Listening & Speaking IX (1)	Listening & Speaking X (1)	Listening & Speaking XI (1)	Listening & Speaking XII (1)				
	Reading & Writing XIII (1)	Reading & Writing XIV (1)	Reading & Writing XV (1)	Reading & Writing XVI (1)				
	Listening & Speaking XIII (1)	Listening & Speaking XIV (1)	Listening & Speaking XV (1)	Listening & Speaking XVI (1)				
	Reading & Writing XVII (1)	Reading & Writing XVIII (1)	Reading & Writing XIX (1)	Reading & Writing XX (1)				
	Listening & Speaking XVII (1)	Listening & Speaking XVIII (1)	Listening & Speaking XIX (1)	Listening & Speaking XX (1)				
	Reading & Writing XXI (1)	Reading & Writing XXII (1)	Reading & Writing XXIII (1)	Reading & Writing XXIV (1)				
	Listening & Speaking XXI (1)	Listening & Speaking XXII (1)	Listening & Speaking XXIII (1)	Listening & Speaking XXIV (1)				
	Reading & Writing XXV (1)	Reading & Writing XXVI (1)	Reading & Writing XXVII (1)	Reading & Writing XXVIII (1)				
	Listening & Speaking XXV (1)	Listening & Speaking XXVI (1)	Listening & Speaking XXVII (1)	Listening & Speaking XXVIII (1)				
	Reading & Writing XXIX (1)	Reading & Writing XXX (1)	Reading & Writing XXXI (1)	Reading & Writing XXXII (1)				
	Listening & Speaking XXIX (1)	Listening & Speaking XXX (1)	Listening & Speaking XXXI (1)	Listening & Speaking XXXII (1)				
	Reading & Writing XXXIII (1)	Reading & Writing XXXIV (1)	Reading & Writing XXXV (1)	Reading & Writing XXXVI (1)				
	Listening & Speaking XXXIII (1)	Listening & Speaking XXXIV (1)	Listening & Speaking XXXV (1)	Listening & Speaking XXXVI (1)				

＝124単位

専門科目について

区分		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専 門 科 目	共 通	* 建築都市入門	2	* 構造力学演習 I	2	* コンクリート構造工学 I	2	* 卒業研究	6
		* 情報処理入門	2	* 地盤工学演習 I	2	* 環境水理実験	2	* 卒業実習	4
		* 基礎数学	2	* 水理学演習 I	2	* 応用ゼミナール	2		
		* 基礎物理	2	* まちづくり学	2	* 技術者倫理	2		
		* 基礎測量学	2	* 建設材料実験	2	土木統計学	2		
		* 基礎環境学	2	* 建設CAD演習	2	河川工学	2		
		* 基礎演習	2	* 景観デザイン	2	水道工学	2		
		* 測量学実習	2	応用測量学	2	道路工学	2		
		* 構造力学 I	2	構造力学 II	2	プログラミング入門	2		
		* 地盤工学 I	2	地盤工学 II	2	構造力学演習 II	2		
		* 水理学 I	2	水理学 II	2	地盤工学演習 II	2		
		* 建設材料工学	2	工業概論	2	水理学演習 II	2		
		* 設計製図 I	2			構造力学 III	2		
		情報処理演習	2			インターンシップ	2		
		九州学	2			建築CAD演習	2		
						建築法規	2		
						職業指導	4		
専 門 科 目	土 木 デ ザ イ ン			建設材料工学演習	2	コンクリート構造工学 II	2	施工管理學	
				設計製図 II	2	土木デザイン実習	2		
専 門 科 目	都 市 防 災			都市防災学 I	2	海岸港湾工学	2		
				都市防災学 II	2	耐震工学	2		
						都市防災学演習	2		
専 門 科 目	ま ち づ く り			建築製図実習	2	建築生産	2		
				建築環境学	2	景観デザイン演習	2		
				まちづくり学演習	2	建築設計製図	2		
専 門 科 目	環 境 緑 化	植物学	2	生態学	2	植物生態学演習	2		
				応用生態学	2	水環境工学	2		
						生態学実習	2		
						緑化学	2		
						環境法規	2		

専門科目

* 必修科目58単位

(□) 選択科目44単位以上

必修科目は、必ず履修すること。

「基礎数学」「基礎物理」は、
能力別クラスでの履修になる。

※下位クラスは補習授業とセットで履修

基礎教育科目及び外国語科目について

★KSU 基礎教育コア科目

区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	卒業要件
	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	必要単位 選択単位
導入科目	基礎ゼミナール (2)				
	基礎ゼミナール(フワイマリーセミナー) (2)				
	導入ゼミナールⅠ (1)				
	導入ゼミナールⅡ (1)				
実践科目	情報処理演習 A (2)				
	情報処理演習 B (2)				
	実用英会話Ⅰ (実能力) (2)	★キャリア形成演習 (2)	★キャリア形成演習 (2)		
	★実用英語Ⅰ (英語力) (2)	★実用英語Ⅱ (英語力) (2)			
	★英語的教養Ⅰ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅲ (2)				
	★英語的教養Ⅳ (2)				
	★英語的教養Ⅴ (2)				
	★英語的教養Ⅵ (2)				
教養科目	★日本の歴史 (2)				
	★世界の歴史 (2)				
	★法学 (2)				
	★日本国憲法 (2)				
	★現代の政治 (2)				
	★倫理 (2)				
	★哲学の世界 (2)				
	★文学の世界 (2)				
	★心理学概論 (2)				
	★文化人類学 (2)				
実務科目	★科学・技術史 (2)				
	★科学の世界 (2)				
	★地理の世界 (2)				
	★現代の経済 (2)				
	★現代の経営 (2)				
	★数学の世界 (2)				
	★数学の世界 (2)				
	★数学・美術史 (2)				
	★音楽概論 (2)				
	★アートスクール (2)				
外国語科目	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅴ (1)	★英語Ⅵ (1)	★英語Ⅶ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	
	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	★英語Ⅷ (1)	

基礎教育科目 12単位以上

★コア科目
履修を推奨する科目です。
コア科目を中心に履修しましょう

外国語科目
外国語10単位以上
(英語科目8単位以上)

英語科目
フレイズメントテスト結果をもとに、
自分の能力に応じたクラスに編成されます。
英語科目2科目が事前に登録されています。

授業時間割について

3種類あります。

①専門科目

②「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」
(KSU基盤教育)

③「外国語科目・留学生の日本語科目」
(KSU基盤教育)

②及び③は、全学共通で開講されます。

※基礎教育・外国語科目時間割に記載されている科目は、
基本的にどの学部・学科であっても履修できます。(英語は決まっています!!)

授業時間割について

・ 授業時間割表の見方

授業時間割には、**期別**（前学期または後学期）・**授業科目**・**担当者**・**教室**が記載されている。

【例】

月曜1限目

新	新カリ/旧カリ
□基礎ゼミナール	科目名①(新カリ)
[618]	クラスコード
横田 他	担当者
8209	教室名
17以降	備考

* = 必修科目

□ = 選択科目

※ = 教職科目

授業時間割について

・ 授業時間割表の見方

基礎ゼミナール、基礎数学、基礎物理、
キャリア形成基礎論は
事前に登録しています。

英語は、4/7（火）に仮登録されます。

※事前に登録されている科目は
必ず履修してください。

授業時間割について

教室の見方について

N101	・・・	1号館1階北側	101教室
2E301	・・・	2号館3階東側	301教室
8211	・・・	8号館2階	8211教室
12101	・・・	12号館1階	12101教室
OA1	・・・	1号館6階	OA1教室
PC演2	・・・	中央会館3階	パソコン演習室2

授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
- ②受講者数などの理由により、教室を変更する
- ③担当者の変更など

※K'sLifeで通知します。

履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間を確保するため、1年間に履修登録できる単位数の上限を定めています。

都市デザイン工学科

1年次 44単位(年間)

2年次 44単位(年間)

3年次 44単位(年間)

4年次 44単位(年間)

※ 1.2年次配当の授業科目(基礎数学・基礎物理を含む)を**56単位以上**修得していなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。

英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされます。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の4科目は、4/7(火)までに仮登録されます。

→ 英語クラス分け結果については、4月7日(火)に大学のポータルサイトK'sLifeを確認すること。

実用国語、数理的教養の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「実用国語Ⅰ（文章力）」、「実用国語Ⅱ（国語力）」、「実践キャリア学修B」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「数理的教養Ⅰ」の履修を促す場合があります。その際は「数理的教養Ⅰ」を履修するようにしてください。

受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

- : 残数が30%以上
- △ : 残数が30%未満
- × : 残数が0%

履修については、早めに登録すること。
教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある……。

令和2年度新規科目について

「実践力育成演習B」(担当者:鶴田先生、松岡先生、村上先生)

「AIを使いこなす人」を育てるため、
全学共通基礎科目として、AIに関する授業を開講します。
AIの魅力と必要性を体感する授業です。
※同一授業科目名称で内容の異なる科目があるので注意すること。

「総合講座D」担当者:今村先生

「先を読む力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の向上を
図るため、囲碁に関する授業を開講します。
囲碁のルールを解説し、実際に対局を行います。



ホークス・スタッフが講師！
プロ野球ビジネスが学べる！
タカガールデー観戦も！

前期火曜4限
「実践キャリア演習A」
学部・学科横断型

九産大だけの特別講座

履修制限科目について

履修が制限されている科目があります。

初回授業に出席して受講許可が得られる科目

- ・実践力育成演習A
- ・スポーツ科学演習 等

- ・課題解決演習A・B

授業時間割のつくりかた

4/3(金)履修登録説明会
4/7~4/9履修登録期間
※自分で登録すること。

※時間割に、自分が履修する科目をマークしよう！！

- ①火3・木4は、英語科目を登録するため、空けておくこと。
- ②木3・金3は、基礎数学・基礎物理を登録するため、空けておくこと。
- ③前期月1「基礎ゼミナール」、木2「キャリア形成基礎論」が登録されているか、各自で確認しておくこと。
- ④実践キャリア学修Bが登録されている学生は、履修すること。
- ⑤基礎教育科目を選択し、マークする。
基礎教育科目は、10単位分をなるべく1・2年生で終わらせよう！
(3年次で「キャリア形成戦略」は、全員履修科目。)

※履修登録単位数の上限である44単位、
(各学期の履修上限は28単位)履修すること。

WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録の仕方をお教えします。
履修登録は、4/7(火)に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

WEB履修登録説明会

時 間:4月3日(金)11:00~12:00

場 所:1号館6階 OA1~2

※履修ガイド・授業時間割表を必ず持参すること！

前学期履修登録期間・・・4月7日(火)~4月9日(木)

前学期履修登録**変更**期間・・・4月27日(月)~4月30日(木)

後学期履修登録**変更**期間・・・9月8日(火)~9月18日(金)



「履修登録」や「履修変更」などはK'sLifeで登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に間違いがないか必ず確認してください。

履修したら

①教科書の購入

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入申込書(OCR)を使って購入する。
- 教科書販売:**別紙参照**
場所:中央会館2F販売所

②授業に出席する(半期14回)

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

③休講・補講について

- 休講**:授業担当者がやむ負えない理由で授業が行われない場合があります。
- 補講**:休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。
毎日、確認してください。**

試験について

前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。
- ・授業の出席回数が3分の2に満たない。
- ・修学費を納めていない。
- ・学生証を所持していない。
- ・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始2週間前に**教務課HP**に掲載します。
必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい。

追試験

- ・病気その他**やむを得ない事由**で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日までに、所定の書類を教務課に届けること。

教職資格等について

教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程……………1年次後学期から履修開始。
1年次生を対象に7月頃教職ガイダンスを実施します。

司書・学芸員・社会教育主事…1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)
該当学生には、K'sLifeにてお知らせしますので、
必要な手続きを行って下さい。

奨学金関連のお知らせ

「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

日程	開始時間	対象学部	場所
4月2日(木)	15:00	商学部(経営管理)	1号館4階 S404番教室
	15:30	商学部(流通マーケティング)	
4月3日(金)	9:30	経済学部	1号館2階 S201番教室
	10:00	人間科学部(臨床心理・子ども教育)	
	10:30	地域共創学部(観光)	
	11:00	人間科学部(スポーツ健康科)・建築都市工学部(建築)	1号館1階 S101番教室
	14:00	地域共創学部(地域づくり)	
	14:30	建築都市工学部(都市デザイン工)	
	15:00	国際文化学部	
4月6日(月)	9:00	理工学部(情報科)	1号館2階 S201番教室
	9:30	理工学部(機械工)	
	10:00	理工学部(電気工)	
	10:30	芸術学部(生活環境デザイン)、生命科学部	
	11:00	芸術学部(芸術表現・ソーシャルデザイン)・建築都市工学部(住居・インテリア)	
	11:30	芸術学部(ビジュアルデザイン・写真映像)	

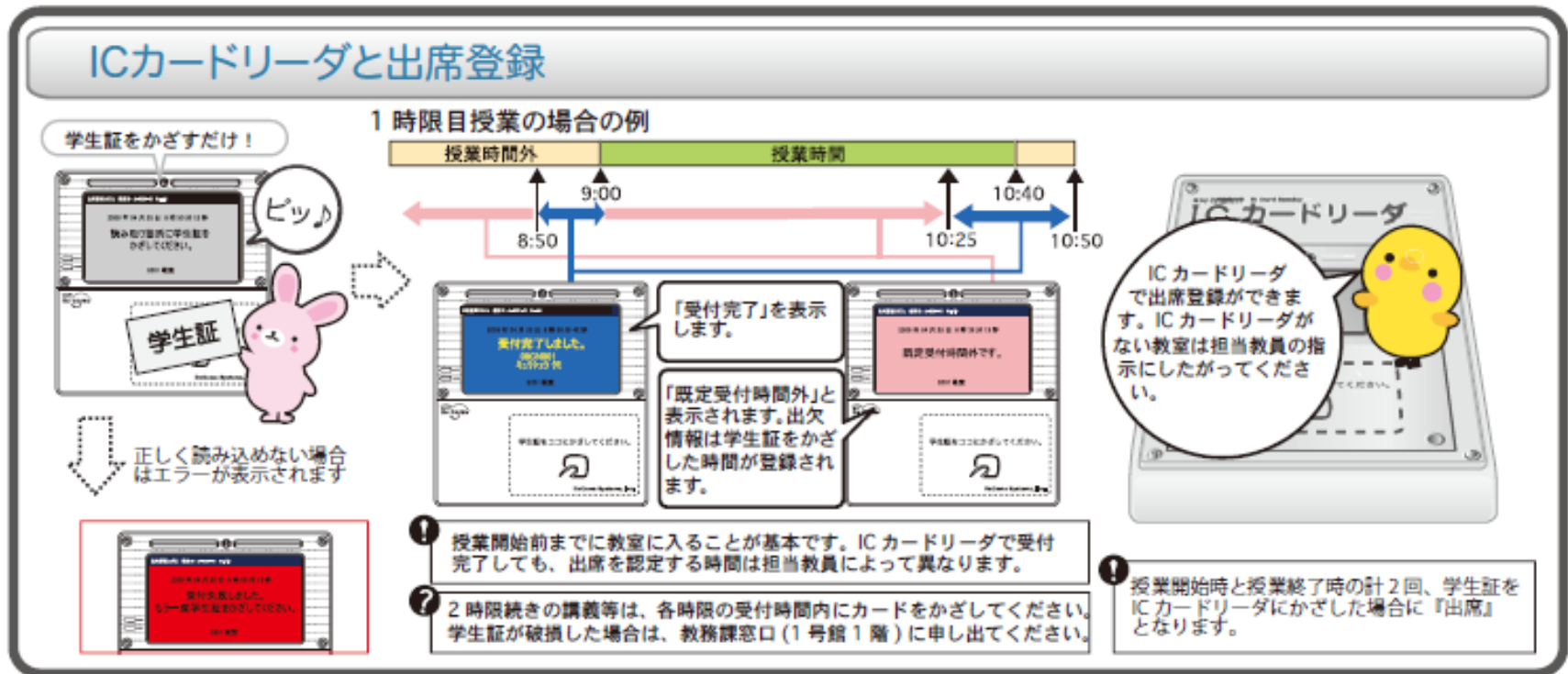
※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

4月22日（水） 授業開始

※履修登録変更期間は、**4月30日(木)**までですが、授業によっては出席を取り、授業の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

授業の出席について



※ICカードのかざし忘れには注意すること。

※かざす時間帯に注意すること。

チャレンジマンズについて

チャレンジマンズ

・100分授業の導入に応じて、

夏季や春季の休業期間の延長

→長期休業期間中の学外での活動を推奨

(例: 海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、インターンシップ参加など)

出席について

出席について

本学学生のデータ分析の結果、
授業全体の出席率が**80%以下**になると、単位
修得率が大きく下がることが分かっています。
→急な病気等で休まないといけないこともある
ので、普段から授業にはきちんと出席すること。

三者面談について

三者面談

- ①学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付します。
- ②連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒(訓告、退学処分)**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！

各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに掲載される



毎日確認すること!!

教務部HPについて

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。
- よくある質問
問い合わせが多い内容を掲載します。
- 利用の手引き
- 学籍関係
- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること
履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。
- 時間割
授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。
- 学部からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



本日以降の予定について

4/3(金)

11:00～12:00:履修登録説明会<OA教室1・2>

14:30～15:00:日本学生支援機構奨学金説明会
<S101教室>

4/22(水)授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認すること

最後に

時間割、履修、授業など分からないことがあったら、すぐ教務課へ!!

092-673-5455

LA(ラーニング・アシスタント)制度を導入している。LA(先輩)がいるゼミは、積極的にLAを活用すること!!

分からないことを
分からないままにしないこと。
必ず聞くこと。

コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

K' s Life、HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。